

水産技術センターの建設について

I 趣 旨

戦後における水産業に科学技術が応用普及され経営の改善をもたらしているが、他産業に比較すれば立遅れの傾向にある。

このような現状打開に普及指導体制を整備し、水産科学技術の指導及び経営の合理化を強力に普及推進するため本施設を建設した次才である。

II 竣 工

昭和35年5月31日

III 施 設 内 容

建物 構造 木造平家
建坪 50坪
内訳 研修室 20坪, 漁海況広報室 8坪, 漁具診断室 8坪, 標本室 8坪, 玄関 1坪
廊下 5坪

漁具診断器具

- (1) ショツパー型引張試験機 引張容量 500kg 電動機 200W $\frac{1}{4}$ HP 100V 50A
- (2) アムスラー型摩耗試験機 乾湿用 電動機 200W $\frac{1}{4}$ HP 100V 50A
- (3) ショツパー型検撚機 試長 50cm 伸度 20cm 金属ヘッド 回転数 3000回(左右)

IV 運 営 方 針

- (1) 漁船乗組員の養成
- (2) 漁業技術修練の実施
- (3) 漁具診断の実施
- (4) 水産加工業改善の実施
- (5) 水産関係者の講習, 研修, 協議会等の開催